

子どもたちが大好き

うたう動物園

保育士からの転身

子どもたちのためにコンサート活動を続けている「うたう動物園」のメンバーに会った。リーダーでギター担当の杉川寿寛さん（東伯郡大栄町・二十七歳）、ボーカル担当の山口高志さん（鳥取市田島・二十七歳）、パーカッション

ン（打楽器）担当の高田悟志さん（米子市福市・二十七歳）の三人。保育士養成学校の同級生だ。

平成十年三月に結成された「うたう動物園」。鳥取市を拠点に、それぞれ倉吉、鳥取、米子市内の保育園に勤めながら、県内の保育園・幼稚園や、育児サークルなどでコンサート活動を行ってきた。平成十三年四月、両立が難しくなり、全員が保育園を辞め、バンド活動に専念することに。「自分たちの好きな分野で、子どもたちとかかわっていくことができる今の道を選びました。保育園の子どもたちと別れるときは、とてもつらかったですよ」と山口さん。

今では、県外でもコンサートを行ったり、保育雑誌に歌や手遊びを提供するなど、活動の範囲を広げている。

曲づくりの秘密は「子どもたちのつばやき」

それにしても、「うたう動物園」のコンサートは人気がある。その秘密は、オリジナルの歌と遊びにあるようだ。曲づくりに保育士の経験が生かされている。

彼らの曲は、保育園に勤めていた時に聞いた子どもたちのつばやきから生まれた作品が多い。「子どもたちが何気なくつぶやく言葉に、考えていること、思っていることが集約されています。その感性にハッと驚き、感動させられます。子どもって本当にすごいなあ」と思いますよ」と三人が口をそろえる。

子どもたちと一緒に大騒ぎ

彼らのコンサートを見た。おとなしかった子どもたちが、曲が進むにつれて目を輝かせはじめ、最後は大騒ぎに。彼らの歌には子どもたちを引き付ける何かがある。メンバーも本当に楽しそうだ。



子どもたちもノリノリ

「僕たちの方が、子どもたちから楽しさや喜びをもらっています。終わった後の充実感がたまらなく最高です」と高田さん。「できればステージの上ではなく、子どもたちの中に入ってやりたいですね。失敗も多く反省ばかり。まだまだ手探りの状態です。もっと腕をみがき、プロとして完成されたコンサートを目指します」とリーダーの杉川さんが気を引き締める。

「僕たちの歌や遊びが、親子のふれあうきっかけになってくれたらうれしいですね」と笑顔で語る三人の瞳に、子どもを愛する純真な心を見た。

光心グループ
こころをかたちに...

葬祭全般・通夜場・告別式場・ペット葬祭・メモリアルギフト

セレモニーホール — メモワールイナバ

TEL (0857) 38-4400 〒680-0923 鳥取市服部15-3
FAX (0857) 38-4412
ホームページアドレス <http://www.m-inaba.co.jp/>

有限会社 **イナバ葬祭センター**
TEL (0857) 38-4400 鳥取市服部15-3
FAX (0857) 38-4412

有限会社 **セレモニーサービス鳥取**
TEL (0857) 38-4411 鳥取市服部15-3
FAX (0857) 38-4412